

まちの話題



表彰状を手に取る阿部代表取締役（左 2）と菅谷代表取締役（左 1）

先生の呼名に元気に返事をする園児たち

事業への貢献に感謝

有限会社大川原組（阿部^{けん}代表取締役）と株式会社本宮運輸（菅谷^{すが やただひさ}代表取締役）が日本赤十字社へ多額の活動資金を納めたとして、活動資金功労表彰の銀色有功章を受けました。4月5日に行われた伝達式^{なだし}では、日本赤十字社岩手県支部平野直事務局長から表彰状が伝達されました。阿部代表取締役は「日本赤十字社の活動にとっても共感している。これからも微力ながら協力したい」と誓いました。菅谷代表取締役は「私たちにできることから貢献させていただき、その流れが町内にも広がっていければ」と願っていました。



元 統合後の南方幼稚園で入園式 元気いっぱいの入園式

町立認定こども園南方幼稚園の入園式が4月12日、行われました。本年度は、3月末で閉園した町立永岡幼稚園の園児3人を含めた、3歳児から5歳児までの計28人が入園しました。式では、入園児の呼名のあとに安全帽子の贈呈が行われ、園児は新しい友達や幼稚園での生活に期待を寄せました。入園した伊藤^{はるき}陽菜ちゃん（5歳）は「入園式は緊張した。幼稚園ではつり橋（固定遊具）にチャレンジしたい」と南方幼稚園での新しい生活に目を輝かせていました。

住民意見の反映願う

町議会（伊藤雅章議長）は3月31日、「議会展張^{まさあき}ほっとミーティング」で出された住民要望を^{かんじゅ}高橋寛寿町長と千葉祐悦教育長に手渡しました。要望には農家支援や町内企業の魅力発信など11項目が記載され、伊藤議長は「これからの町政運営の参考にさせていただきたい」と願っていました。



高橋町長（左）に要望を手渡す伊藤議長（右）

テープカットで開所を祝う出席者

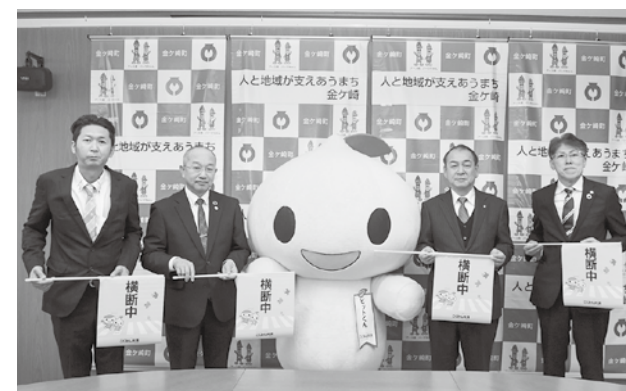


成年後見制度の利用促進へ

奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンターが4月1日、奥州市総合福祉センター内に開所しました。同センターは成年後見制度の利用促進を図る目的で、奥州市と金ケ崎町が共同で設置しました。事業を受託する市社会福祉協議会^{たものきしげき}田面木茂樹会長は「必要な人が速やかに利用できるよう尽力する」と誓いました。

安全に横断歩道を渡れるように

町は3月23日、こくみん共済coopから横断旗300本を贈呈いただきました。こくみん共済coop岩手推進本部佐藤伸一^{しんいち}本部長は「日頃の活動の一助になればうれしい」と期待を込め、高橋寛寿町長は「子どもたちの利用の多い横断歩道に設置する。大切にに使わせていただく」と感謝を述べました。



横断旗を持ち笑顔を見せる佐藤本部長（右 1）と高橋町長（右 2）

千葉祐悦教育長（右）に通学帽子を手渡す上松会長（左）



子どもたちの安全な登下校へ

県水沢地方交通安全協会金ケ崎分会（上松^{とうじ}東治会長）は3月29日、町内幼稚園・小学校に新入学生通学帽子212個を寄贈しました。上松会長は「この帽子は町民皆さんの協力で毎年寄贈できている。祈とうしているこの帽子を被って元気に登校してほしい」と子どもたちの安全を願っていました。